

開票作業ミス続発

沖縄県議選 当選者入れ替わる

5日に投開票された沖縄県議選（定数48）は、各自治体による投開票作業が6日未明まで行われた。翁長雄志知事を支える与党勢力が半数を超える27議席を獲得する一方、県選挙管理委員会が二つの選挙区で開票結果を間違って発表。当選者が入れ替わる事態が起きるなど、混乱も見られた。

▼1面参照

県選管の当山尚幸委員長は6日未明、記者会見を開いて経緯を説明。混乱の原因はチェック不足にあると

して、「（関係者を）一喜一憂させたのは申し訳ない」と陳謝した。

当選者が入れ替わったのは、国頭郡区（定数2）。11ある開票所のうち伊江村と伊是名村の開票データについて、4人の候補者のうち3人の票がそれぞれ別の候補者の票としてシステムに入力されていた。票を修正した結果、4位の具志堅透氏が2位の吉田勝広氏を逆転し、当選した。

票結果は正しく、これを県選管職員が電話で聞き取り、システムに入力する際にトラブルが生じた。パソコン画面上は正しく入力した票が、設定の誤りで別人の票になっていたという。逆転当選した具志堅氏の陣営では各開票所にスタッフを送っていたため、票がおかしいことに気づき、県選管にアピール。具志堅氏は「独自集計で勝ったと思っただが、選管のデータで負け、敗戦の弁も述べた」と語った。

このほか、中頭郡区の北中城村でも同様のミスがあったが、当落には影響しなかった。宮古島市区では当日有権者数を誤った。